

国土数值情報（学校）

製品仕様書

第 2.0 版

令和 4 年 3 月

国土交通省 不動産・建設経済局

目次

1 概覧.....	1
1.1 空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2 目的.....	1
1.3 適用範囲.....	1
1.4 引用規格.....	2
1.5 用語と定義.....	2
1.6 略語.....	2
1.7 参考資料.....	2
2 適用範囲.....	3
.....	3
2.1 適用範囲識別.....	3
2.2 階層レベル.....	3
3 データ製品識別.....	4
4 データ内容および構造.....	5
.....	5
.....	5
4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書.....	5
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ.....	5
4.1.2 施設パッケージ.....	6
4.1.3 学校パッケージ.....	7
4.1.4 共通パッケージ.....	12
4.2 空間スキーマプロファイル.....	12
4.3 時間スキーマプロファイル.....	12
参照系.....	12
5.1 座標参照系.....	12
5.2 時間参照系.....	12
データ品質.....	13
データ製品配布.....	16
7.1 配布書式情報.....	16
7.2 配布媒体情報.....	16
メタデータ.....	17
付属資料-1 符号化仕様作成のためのタグ一覧.....	1
付属資料-2 符号化仕様.....	2

【改定履歴】

版	更新日	改定内容
第 1.0 版	2013 年 3 月	地理情報標準プロファイル (JPGIS) ver.2.1 準拠 ・平成 2 年度、平成 18 年度年度作成データに対応
第 1.1 版	2014 年 3 月	整備作業に伴い、一部見直しを実施
第 2.0 版	2022 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ JPGIS2014 に対応 ・ 座標参照系を「参照系識別子：JGD2011 / (B,L)」に変更 ・ 属性項目の変更：「学校コード」の追加 休校区分の追加 「公共施設大区分」の削除 「公共施設小区分」の削除

1 概覧

1.1 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：国土数値情報（学校）製品仕様書 第 2.0 版
- 日付：2022 年 3 月 11 日
- 作成者：国土交通省 不動産・建設経済局 情報活用推進課
- 言語：日本語
- 分野：施設
- 文書書式：PDF

1.2 目的

国土数値情報は、国土に関する基本的な地理空間情報であり、国土計画、土地・不動産施策、地域活性化施策等の検討等に幅広く活用されており、インターネットを通じ一般公開を行っている。学校については、学校施設を網羅的にデータ化することにより学校の統廃合の検討や、学校を起点とした街づくり・都市計画の検討や策定などに資するだけでなく、近年甚大化している災害時の対策として、学校施設を指定緊急避難場所及び指定避難所に指定する場合や避難施設の再配置の検討など、ハザード情報としても重要となる。

本データは、全国の学校の位置及び種別、名称、住所、管理者等のデータを整備したものである。

1.3 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲
日本全国
- 時間範囲
令和 3 年 8 月 6 日時点

1.4 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル（JPGIS） 2014 令和元年 7 月）

1.5 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル（JPGIS） 2014 「附属書 5（規定） 定義」

- 国土交通省 国土政策局国土情報課 GIS ホームページ ガイダンス

URL: <https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/gis/guidance/index.html>

- 学校

学校とは、学校教育法第 1 条に規定する学校（幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校）若しくは同法第 124 条に規定する専修学校若しくは同法第 134 条に規定する各種学校又は就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第 2 条第 7 項に規定する幼保連携型認定こども園をいう。

典拠：文部科学省公式 HP <https://www.mext.go.jp/index.htm>

1.6 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language

1.7 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス

URL : <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

2 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1 適用範囲識別

国土数値情報（学校）製品仕様書 第2.0版適用範囲

2.2 階層レベル

データ集合

3 データ製品識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

- 空間データ製品の名称：国土数値情報（学校）データ

- 日付：2022年3月11日

- 問合せ先：国土交通省 国土情報提供サイト運営事務局
URL: <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/inquiry.html>
- 地理記述：全国

- 概要

本データは学校教育法に基づく全国の小学校、中学校、中等教育学校、高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、幼稚園、特別支援学校、幼保連携型認定こども園、義務教育学校、各種学校、専修学校について、文部科学省にて公開している「学校コード一覧」を原典資料とし、整備を行うもの。各都道府県の教育委員会ホームページ掲載情報を参考資料とした。

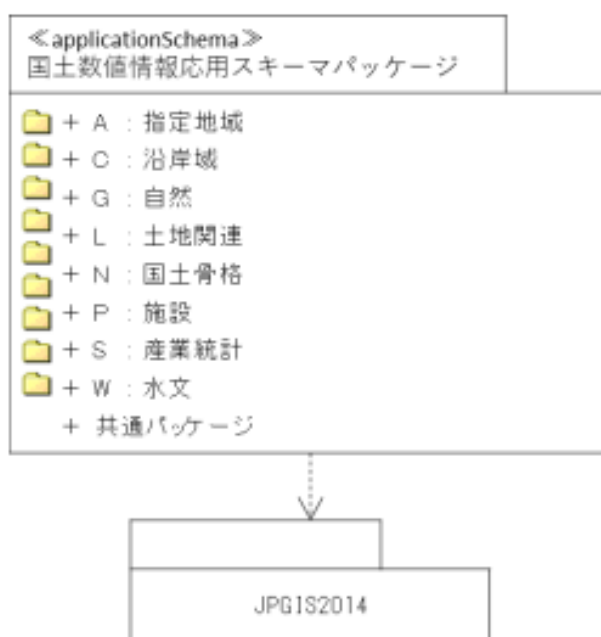
4 データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

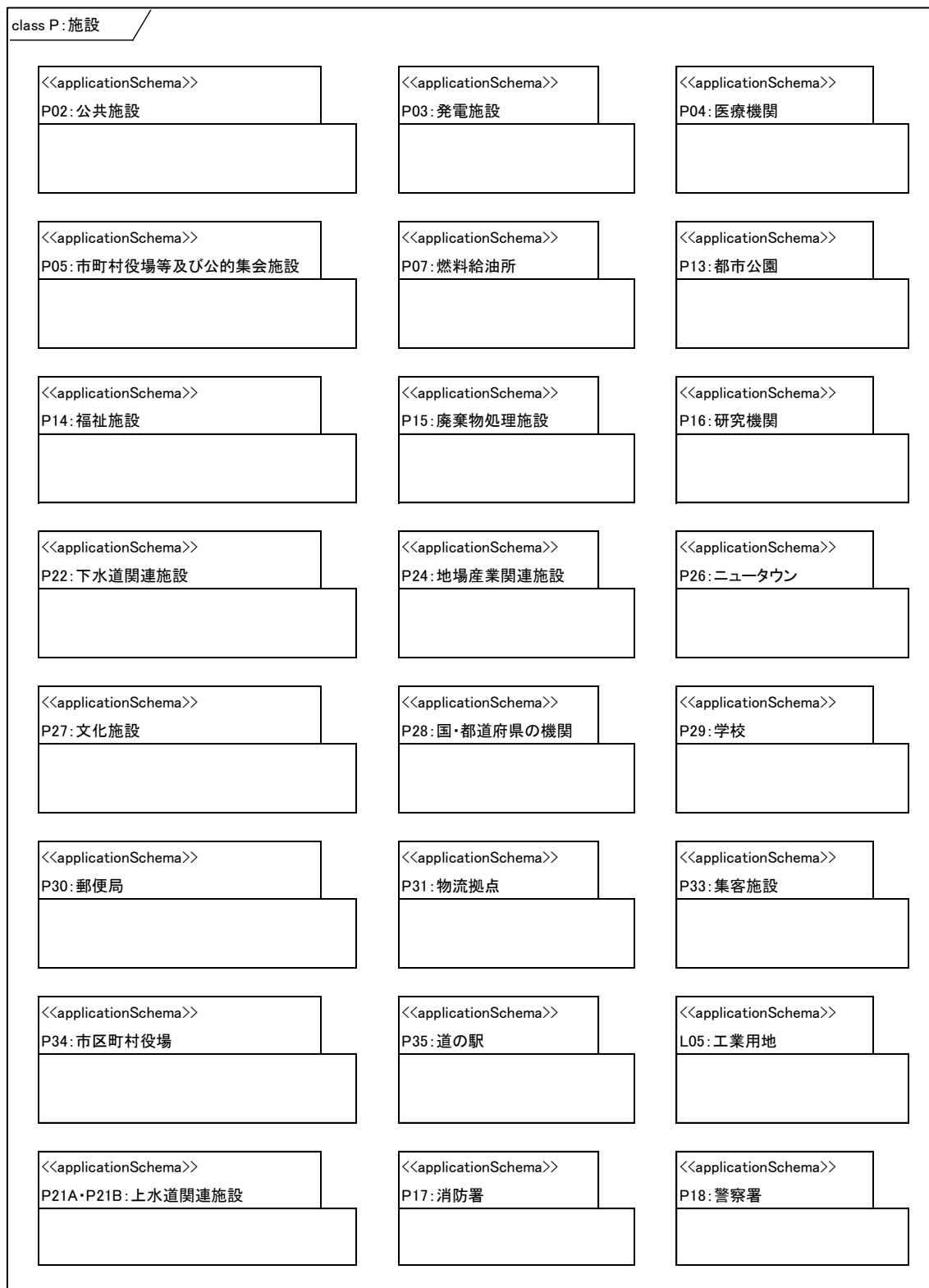
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報を分類したパッケージと、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、指定地域や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.2 施設パッケージ

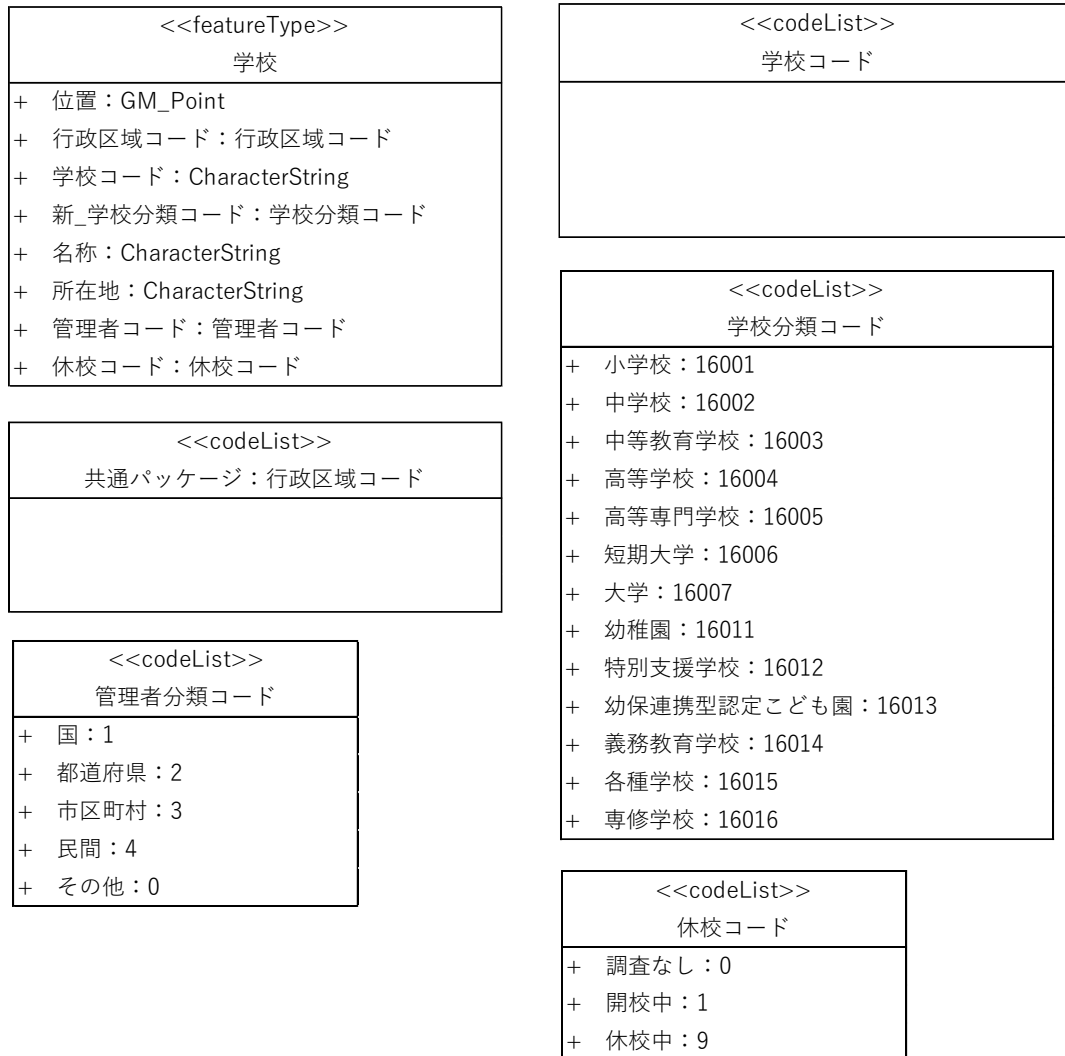
このパッケージは、施設に関するパッケージをまとめたものである。



4.1.3 学校パッケージ

このパッケージは、学校に関する内容をまとめたものである。

4.1.3.1 応用スキーマクラス図



4.1.3.2 応用スキーマ文書

学校

学校制度は社会システムの 1 つである教育制度の中心的システムの一つである。社会的作用・社会的活動としての教育は、個人、家庭、小集団、地域社会、国家社会などにもみられるが、現代国家では学校が教育制度の中核的役割を担っている。

学校とは、学校教育法第 1 条に規定する学校（幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校）若しくは同法第 124 条に規定する専修学校若しくは同法第 134 条に規定する各種学校又は就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第 2 条第 7 項に規定する幼保連携型認定こども園をいう。

原典資料：

- ・文部科学省が公開している全国「学校コード一覧」(R3 年 8 月 6 日時点)

参照資料を次に示す。

- ・都道府県教育委員会が公開している私立学校一覧
- ・市区町村教育委員会ホームページ
- ・該当学校のホームページ

上位クラス： なし

抽象/具象区分： 具象

属性

位置 : GM_Point

学校の位置。

■ 取得基準

該当学校の敷地内に位置する。

行政区域コード : 行政区域コード

当該施設が所在する市区町村を示すコードで、都道府県コードと市区町村コードからなる、行政区を特定するための 5 桁のコード。 JIS 規格 (JIS X 0401, JIS X 0402) に準拠する。

■ 定義域

共通パッケージを参照。令和元年 5 月 1 日更新公表値を使用する。

5byte 以内

学校コード : CharacterString

全国の学校 (学校教育法第 1 条に規定する学校若しくは同法第 124 条に規定する専修学校若しくは同法第 134 条に規定する各種学校又は就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第 2 条第 7 項に規定する幼保連携型認定こども園をいう。) に対し、当該学校に固有の「学校コード」を文部科学省において設定する。

■ 定義域

文部科学省にて公開している「学校コード」。

学校コードについて、全国の学校に対し、当該学校に固有の「学校コード」を文部科学省において設定した。

15byte 以内

(例) A123310000009

学校コード				
A123310000009				
A1	23	3	1000000	9
学校種	都道府県コード	設置区分	学校番号	検査数字

学校コードは、当該学校の種別 (「学校種」)、所在する都道府県の別 (「都道府県番号」)、設置者の別 (「設置区分」)、これら三つの要素により区分された中において重複なく付番される「学校番号」、及びこれらにより構成される数字等の入力誤りを防止するための「検査数字」の五つの要素により構成する。

学校分類：学校分類コード

学校の種類を特定するためのコード。

■ 定義域

「学校分類コード」がとりうる値。

コード	対応する内容
16001	小学校
16002	中学校
16003	中等教育学校
16004	高等学校
16005	高等専門学校
16006	短期大学
16007	大学
16011	幼稚園
16012	特別支援学校
16013	幼保連携型認定こども園
16014	義務教育学校
16015	各種学校
16016	専修学校

名称：CharacterString

学校の正式名称。

■ 定義域

所属組合等や共通文言を取り除いた学校名称を表記する。

254byte 以内

所在地：CharacterString

学校の住所情報

■ 定義域

該当学校が所在する住所情報を格納する。(例えば, ○○市□□町 1-1-1)。

254byte 以内

管理者区分：管理者コード

学校の管理者を区分するためのコード。

■ 定義域

「管理者コード」がとりうる値。1byte 以内

コード	対応する内容
1	国
2	都道府県
3	市区町村
4	民間
0	その他

休校区分：休校コード

学校の休校、運営状態を区分するためのコード。

■ 定義域

「休校コード」がとりうる値。1byte 以内

コード	対応する内容
0	調査なし
1	開校中
9	休校中

国立、公立の高校以下の学校に対してのみ休校情報を所在する都道府県教育委員会ホームページにて調査した。調査結果は令和3年10月の公開情報とする。

4.1.4 共通パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめたものである。

コードリストについては、本製品仕様書「1.7 参考資料」の参照先を参照。

4.2 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 2014 版 対応空間スキーマ」を採用する。

4.3 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の時間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 2014 版 時間スキーマ」を採用する。

参照系

5.1 座標参照系

参照系識別子 : JGD2011/(B, L) とする。この表記は、JIS X7115 附属書 2 に規定された表記方法に準拠しており、JGD2011 は日本測地系 2011 B L は測地座標系による緯度、経度であることを示している。

5.2 時間参照系

参照系識別子 : GC/JST とする。この表記は、JIS X7115 附属書 1 に規定された表記方法に準拠しており、GC はグレゴリオ暦 (西暦)、JST は日本標準時であることを示している。

データ品質

品質要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	<p>原典資料と、既存データ同士の一対一の比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合内に存在する過剰なデータ（エラー）の割合（誤率）を計算する。 次の場合エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対応関係がとれない地物がデータ集合内に存在する場合。 ・ 原典資料及び既存データ内に同一の地物インスタンスが重複して存在する場合。本体を除き、重複している余分なデータの個数をすべてエラーとして数える。※大学キャンパスの場合は重複処理で、合格とする。 <p>誤率 (%) = (過剰なデータ数 / 参照データに含まれるデータの総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参照データは、原典資料または監督員が指定する参考資料、またはこれらを用い作成した資料等とする。 ・ 地物型の識別ができるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 ・ データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ・ 計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 誤率=0% であれば“合格” ➢ 誤率>0% であれば“不合格”
適合品質水準	過剰なデータの割合：0%

品質要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	<p>原典資料と、既存データ同士の一対一の比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合から漏れているデータ（エラー）の割合（誤率）を計算する。 次の場合エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原典資料と対応すべき地物インスタンスが、データ集合内に存在しない場合。 <p>誤率 (%) = (漏れのデータ数 / 参照データに含まれるデータの総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参照データは、原典資料または監督員が指定する参考資料、またはこれらを用い作成した資料等とする。 ・ 地物型の識別ができるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 ・ データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ・ 計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 誤率=0% であれば“合格” ➢ 誤率>0% であれば“不合格”
適合品質水準	データの漏れの割合：0%

品質要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	データ集合の書式（フォーマット）が、整形形式となっていない箇所（XML 文書の構文として正しくない箇所）の割合（誤率）を計算する。データ集合は、整形形式の XML 文書（Well-Formed XML）でなければならない。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 データ集合のファイルの書式が XML の文法（構造）に適合しているか、検査プログラムによって評価する。 一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。
適合品質水準	XML 文書の構文のエラーの割合：0%

品質要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	符号化仕様が規定する XML スキーマに対する、データ集合に存在する矛盾の割合（誤率）を計算する。データ集合は、妥当な XML 文書（Valid XML document）でなければならない。 XML スキーマに対する XML 文書の妥当性の検査に加え、次の項目についても検査する。 ■地物に関する検査項目 地物インスタンスの型（地物型）が、応用スキーマが規定する地物型と合致しない場合エラーとする。 ■空間スキーマプロファイルに関する検査項目 データ集合内のどの地物インスタンスからも参照されない幾何要素が存在する場合、エラーとする。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 応用スキーマを表現する XML スキーマとデータ集合に矛盾がないか、検査プログラムによって検査する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。
適合品質水準	符号化仕様の XML スキーマに対する矛盾の割合：0%

品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	地物属性インスタンスの値が、応用スキーマに規定される定義域の範囲に含まれていない場合、その個数をエラーとして数え、その割合（誤率）を計算する。 以下の場合エラーとする <ul style="list-style-type: none"> 空間属性及び時間属性が、適用範囲内に含まれない場合。 コードリストで表わされる主題属性の値が、定義されたコードリストの値に含まれない場合。 誤率 (%) = (定義域外の値をもつ地物属性の数 / データ集合内の地物属性の総数) × 100
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 属性の値が、主題属性の定義域並びに地物の空間及び時間範囲の定義域の中にあるか、検査プログラムによって検査する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。
適合品質水準	地物属性の定義域一貫性のエラーの割合：0%

品質要素	位置正確度・絶対正確度
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	<p>データ集合の位置が、位置取得に用いた参照データ上の当該施設の範囲に含まれていない場合、その個数をエラーとして数え、その割合（誤率）を計算する。次の場合エラーとする。※参照データ上に該当施設がない場合、施設の所在情報の位置（施設のホームページにて確認）とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検査対象のデータの位置が参照データの当該施設の範囲に含まれない場合。 <p>誤率 (%) = (位置のエラー数 / 参照データに含まれるデータの総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>位置取得を行ったデータ集合に対し、全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参照データは、監督員が指定する資料（例：国土地理院図等）とする。 ・ データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ・ 計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 誤率=0% であれば“合格” ➢ 誤率>0% であれば“不合格”
適合品質水準	位置正確度のエラーの割合：0%

品質要素	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、原典資料との一対一の比較を行い、データ集合内に存在する誤った地物属性インスタンス（エラー）の割合（誤率）を計算する。次の場合、エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地物属性“行政区域コード”の内容が正しくない場合。 ・ 地物属性“学校コード”の内容が正しくない場合。 ・ 地物属性“学校分類コード”の内容が正しくない場合。 ・ 地物属性“名称”の内容が正しくない場合。 ・ 地物属性“所在地”の内容が正しくない場合。 ・ 地物属性“管理者コード”の内容が正しくない場合。 ・ 地物属性“休校コード”の内容が正しくない場合。 <p>誤率 (%) = (地物属性のエラー数 / 検査した地物属性の総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参照データは、原典資料または監督員が指定する参考資料、またはこれらを用い作成した資料等とする。 ・ 地物属性の値が識別できるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 ・ データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ・ 計算した誤率と適合品質水準を比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ “適合品質水準 ≥ 誤率”であれば“合格” ➢ “適合品質水準 < 誤率”であれば“不合格”
適合品質水準	非定量的な主題属性のエラーの割合：0%

データ製品配布

7.1 配布書式情報

■ 書式名称

JPGIS 2014 付属書 12 (規定) 地理マーク付け言語(GML)

■ 符号化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は, JPGIS 第 3.0 版 付属書 12 の符号化規則に従う。また, 国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ, 空間スキーマ, 時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は, 次の URL に掲載されている XML Schema を使用する。

<http://schemas.opengis.net/gml/3.2.1/gml.xsd>

国土数値情報 (学校) 応用スキーマの XML Schema で使用する名前空間および名前空間接頭辞は次のとおりとし, XMLSchema については付属資料を参照のこと。

名前空間 : <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/jpgis/xsd/KsjAppSchema.xsd>

名前空間接頭辞 : ksj

■ 文字集合

UTF-8

■ 言語

日本語

7.2 配布媒体情報

■ 単位

全国及び都道府県別

■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは, 国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS 準拠データ)

URL : <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>

メタデータ

本製品仕様書のメタデータは、**JMP2.0**を採用する。

国土数值情報（学校）製品仕様書 第2.0版

付属資料

付属資料-1 符号化仕様作成のためのタグ一覧

	クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名
施設	P29 学校	学校		School	School
			位置	GM_Point	position
	行政区域コード		行政コード	administrativeAreaCode	Administrative Area Code
	学校コード		学校コード	SchoolCode	school code
	学校分類		学校分類コード	SchooltypeCode	school type code
	名称		CharacterString	name	name
	所在地		CharacterString	address	address
	管理者分類		管理者コード	AdministratorCode	administrator code
	休校区分		休校コード	ClosedSchoolCode	closed school code

→

付属资料-2 符号化仕様

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema xmlns:ksj="https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/jpgis/xsd/KsjAppSchema.xsd"
xmlns:gml="http://schemas.opengis.net/gml/3.2.1/"
xmlns:sch="http://www.ascc.net/xml/schematron"
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
targetNamespace="https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app KsjAppSchema-P29-v2_0.xsd"
elementFormDefault="qualified" version="2.0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>学校</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <!-- 外部参照 -->
  <xsd:import namespace="http://schemas.opengis.net/gml/3.2.1"
schemaLocation="http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/
gml.xsd"/>
  <xsd:include schemaLocation="Ksj_Common.xsd"/>
  <!-- 基底要素 -->
  <xsd:element name="Dataset">
    <xsd:complexType>
      <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
          <xsd:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
            <xsd:element ref="gml:AbstractGML"/>
            <xsd:element ref="gml:CompositeValue"/>
          </xsd:choice>
        </xsd:extension>
      </xsd:complexContent>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
  <!-- 要素定義 -->
  <xsd:element name="School" type="ksj:SchoolType"
substitutionGroup="gml:AbstractFeature"/>
  <xsd:complexType name="SchoolType">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>学校</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
```

```

<xsd:complexContent>
  <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
    <xsd:sequence>
      <xsd:element name="position" type="gml:PointPropertyType">
        <xsd:annotation>
          <xsd:documentation>地点</xsd:documentation>
        </xsd:annotation>
      </xsd:element>
    <xsd:element name="administrativeAreaCode" type="gml:CodeType">
      <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>行政区域コード</xsd:documentation>
      <xsd:appinfo>
        <gml:defaultCodeSpace>AdministrativeAreaCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
      </xsd:appinfo>
    </xsd:element>
    <xsd:element name="SchoolCode" type="gml:string" minOccurs="0">
      <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>学校コード</xsd:documentation>
      <xsd:appinfo>
        <gml:defaultCodeSpace>SchoolCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
      </xsd:appinfo>
    </xsd:element>
    <xsd:element name="SchooltypeCode" type="gml:codetype" minOccurs="0">
      <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>学校分類</xsd:documentation>
      <xsd:appinfo>
        <gml:defaultCodeSpace>SchoolTypeCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
      </xsd:appinfo>
    </xsd:element>
    <xsd:element name="name" type="ksj:string">
      <xsd:annotation>

```



```

    <xsd:documentation>名称</xsd:documentation>
  </xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:element>

<xsd:element name="address" type="xsd:string">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>所在地</xsd:documentation>
  </xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:element>

<xsd:element name=" AdministratorCode " type="xsd:CodeType" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>管理者分類</xsd:documentation>
  </xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:element>

<xsd:element name=" ClosedSchoolCode" type="gml:CodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>休校区分</xsd:documentation>
  </xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:element>

<gml:defaultCodeSpace>AdministrativeCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
  </xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>

```

```

<xsd:complexType name="SchoolPropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:School"/>
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup"/>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="SchoolMemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:School"/>
      </xsd:sequence>
      <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:simpleType name="SchoolCodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>学校分類コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:union memberTypes="ksj:SchoolTypeCodeType ksj:SchoolCodeOtherType"/>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="SchoolTypeCodeType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>学校分類コード</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
    <xsd:enumeration value="16001">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>小学校</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="16002">

```

```
<xsd:annotation>
  <xsd:appinfo>
    <gml:description>中学校</gml:description>
  </xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="16003">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>中等教育学校</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="16004">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>高等学校</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="16005">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>高等専門学校</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="16006">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>短期大学</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="16007">
  <xsd:annotation>
```

```
<xsd:appinfo>
  <gml:description>大学</gml:description>
</xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="16011">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>幼稚園</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="16012">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>特別支援学校</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="16013">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>幼保連携型認定こども園</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="16014">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>義務教育学校</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="16015">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
```

```

        <gml:description>各種学校</gml:description>
      </xsd:appinfo>
    </xsd:annotation>
  </xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="16016">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>専修学校</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
</xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="ClosedSchoolCodeType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:annotation>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:simpleType name="ClosedSchoolCode">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>休校コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:union memberTypes="ksj:ClosedSchoolCodeType ksj:ClosedSchoolCodeType"/>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="ClosedSchoolCodeType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>休校コード</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
    <xsd:enumeration value="0">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>調査なし</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>

```

```

<xsd:enumeration value="1">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>開校中</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
<xsd:enumeration value="9">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>休校中</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
  <xsd:documentation>この記述は、元資料にコードリストに規定した値以外の値が入っていた場合に、これを許容するための例外措置です。</xsd:documentation>
</xsd:annotation>
  <xsd:pattern value="other: ¥w{2,}"/>
</xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
</xsd:schema>

```